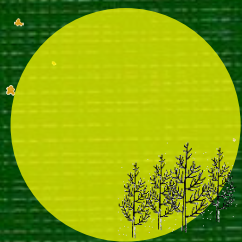


MY FIELDとは... 原村の地域おこし協力隊が発行するかわらばんのことで、原村で暮らす、おもしろくて素敵なお話を紹介します。



## 「jam382 代表」

### 保坂 昇さん(70)

オーディオ機器メーカーにてステレオ等の製造をしていたが、知人の誘いで食品の世界へ。食品と食品添加物の販売を手掛ける商社に長年勤めた後独立し、全国のスーパーのプライベートブランドを開発する等ご活躍された。6年前に原村でjam382を開業し、ジャムをはじめ調味料等を開発。食品添加物を知り尽くした保坂さんだから作れる商品を開発し、全国にファンを増やしている。

## 自分にも相手にも正直でいること

### 心持ち次第でどんな風にも変われる

先祖が江戸時代から続く山梨県の老舗和菓子屋だという保坂さん。知人から全く畑違いの食品の世界に來ないかと誘いを受けたとき、なぜだか行こうと思ひ、DNAを感じたという。

食品添加物の販売と営業を担当することとなった保坂さんだが、悪いことをしているなあとずっと感じていた。

「食品添加物の中には、発がん性物質が発生するものがあるんです。それを知りながら全国に流通させたり、さらには学校給食の調味料に使ったりしていました。そのことがずっと胸の中にあり、忘れることができません。」と打ち明けた。

食品添加物を使うことで、純粋な食品を使わなくて済む上に日持ちがする。安い、長持ち、便利、簡単というキーワードをすべて満たす食品添加物は、お金が起点となって作り出されているものなのだという。「真逆のことをやるうと思ひ独立しました。このような経験をした自分だからこそ作れるものがあると思うんです。」と話し、お金儲けではなく、本当に良いものを作り、

自分にもお客様にも正直に生きたいと思ひを語った。

お金があることは重要なことではないと話す保坂さん。「お金が起点になると、本当が見えにくくなりますね。せっかくの凄い技術も知恵も無駄になっってしまうことがあります。何を想いどう発想するか。これが大切なのです。」と話し、本当に大切なことは何か、本当が見えにくい世の中をどう生きるかを考えるきっかけをくれた。

そんな保坂さんは、原村は日本一良い場所だと笑顔で語る。「空気、自然、水、こんな贅沢な場所はないかなと思いますよ。暮らす土地や食の文化は人格にも大きく影響しますから、ちゃんと正しいものを選びたいですね。」と話し、恵まれた環境での生活に感謝し楽しんでる様子を見せてくれた。

自分の気持ちに正直でいること、自分にうそをつかず気持ちよく暮らすことを常に心掛けていると話す保坂さん。暮らす環境も大事だが、気持ち次第でどんな風にも変われる。肝心なのはやはり自分の心なのだと言ってくれた。